

電子入札コアシステム利用者会議 議事概要

日 時 : 平成 22 年 10 月 4 日 (月)

15 : 00 ~ 16 : 00

場 所 : 東海大学校友会館

出席者 : 配付資料 (出席者一覧) の通り

1. 開会

2. 主催者あいさつ

財団法人 日本建設情報総合センター 理事長 門松 武

3. 座長あいさつ

名古屋工業大学大学院 山本幸司 教授

4. 議事

(1) 趣旨説明

JACIC より説明 : 資料 1 - 1、資料 1 - 2

(2) 財団の概要

JACIC より説明 : 資料 1 - 3

(3) 「電子入札コアシステム」の概要

JACIC より説明 : 資料 1 - 4

(4) 事業仕分けの結果報告

JACIC より説明 : 資料 1 - 5

(5) 利用者の意見要望の拝聴

別紙の通り

(6) 今後のスケジュール

JACIC より説明 : 資料 1 - 6

5. 閉会

(別紙) 電子入札コアシステム 利用者のご意見・ご要望

○ 国の機関

- ・ 重要なシステムであり、発注者受注者の意見を聞く機会は歓迎である。
- ・ 処理速度向上、障害時の危機管理の充実を要望する。
- ・ システムの改良も必要であり、将来を見据えた予算の確保、計画的な改良の実施を要望する。
- ・ システムの改良の際に、アンケート結果を分析し入札参加者の意見も取り入れることが必要である。
- ・ コアシステムの機能向上により、現在ユーザが独自開発しているコストの軽減を図ってほしい。
- ・ 運営管理費にかかる経費と料金体系の透明性、適正化を要望する。

○ 地方公共団体

- ・ 事業仕分けでは国の関与の強化という結果であるものの、引き続き地方の意見を十分聞いていただきたい。
- ・ 利用者会議とユーザ会議(※1)の位置づけを明確にし、地方に負担がかからないようしてほしい。
- ・ 保守管理費についての具体的な使途の説明と、利用者増加に伴う価格の適正化を検討してほしい。
- ・ 買い取り、保守料金ともに透明性を高めてほしい。
- ・ 暗号アルゴリズム変更対応(※2)について、予算措置の要否も含めなるべく早く情報を提供してほしい。

○ 独立行政法人等

- ・ 今後とも利用者会議、アンケートを継続し、より使い勝手のいいシステムにしてほしい。
- ・ 工事・業務の機能を物品・役務でも利用可能とし、使い勝手を改良してほしい。
- ・ 札入れが証明書の提出期限後でないとできない仕様を、証明書提出後にスケジュール修正可能とできないか。

○ 業界団体

- ・ 電子入札は必要不可欠なシステムである。
- ・ 社長交代時等に新しい認証カードへの切替までの2, 3週間は紙入札になる。運用で回避できないか。
- ・ 要請書の質問に対する回答(※3)がいつ掲示されるかわからない。業者選定通知と同様にメールで通知してほしい。

- ※1：電子入札コアシステムユーザ会議のこと。H16年から、毎年1回、ユーザである全国の発注機関が会して同システムに関する意見交換等を行っている。この結果をもとにコアシステムの機能改良等が行われる。多くの発注機関の参加に資するため、H18年からは全国9のブロック毎にも開催している。

- ※2：コンピュータの高性能化により、電子入札システムや各認証局が現在用いている暗号アルゴリズムの危殆化が進行しつつある。改正電子署名法にもとづき、平成25年から新しい暗号アルゴリズムに順次対応することとなっている。

- ※3：入札説明書への質問・回答は電子入札システムを経て行われる。入札参加(希望)者の全員が同じ条件で、同じ質問・回答の情報を得る「公平性」を確保する必要がある。